

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」
における

「学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括
的支援に関する調査研究」



= 算数科における言語活動の充実 =

広島県尾道市立 久保小学校



1 (R) 実態把握

2 (P) 重点課題

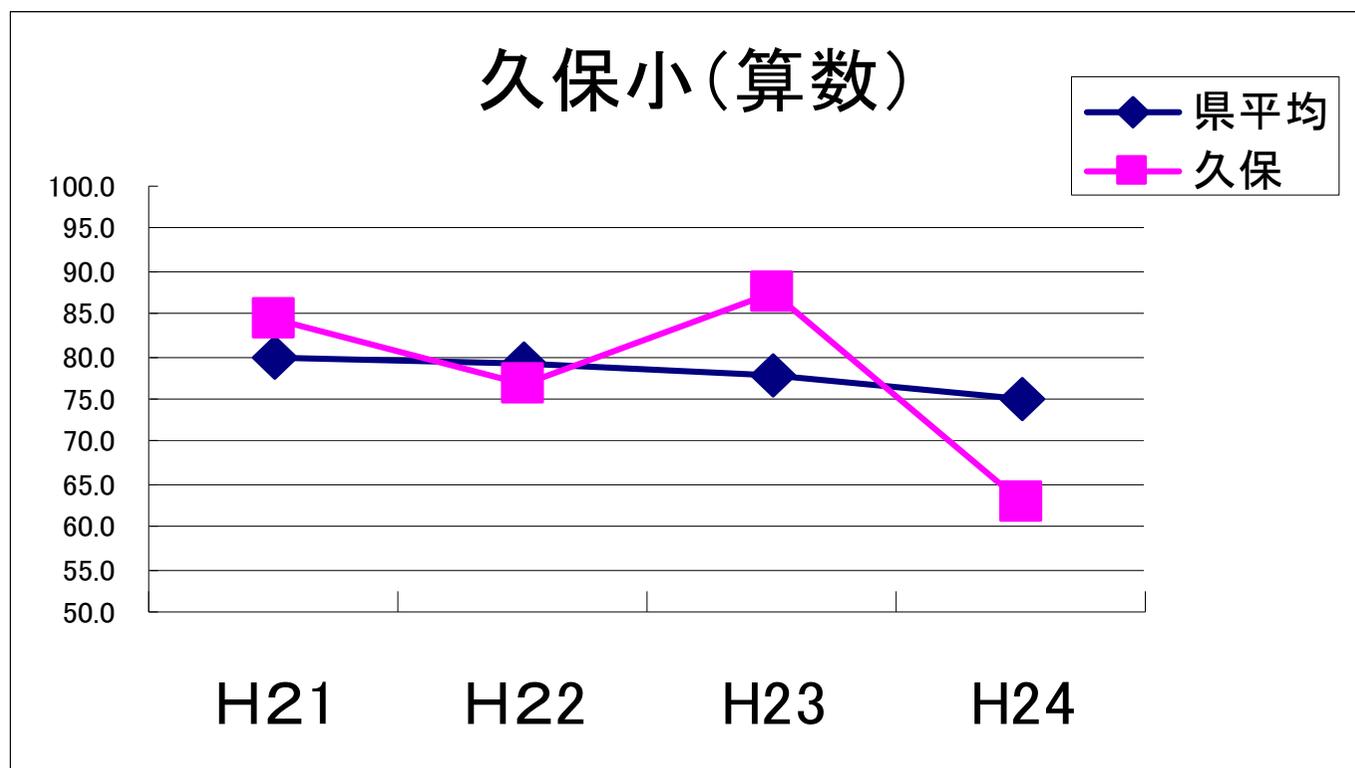
3 (D) 重点課題への取組状況

4 (C) 成果の検証及び今後の課題

5 (A) 今後の課題

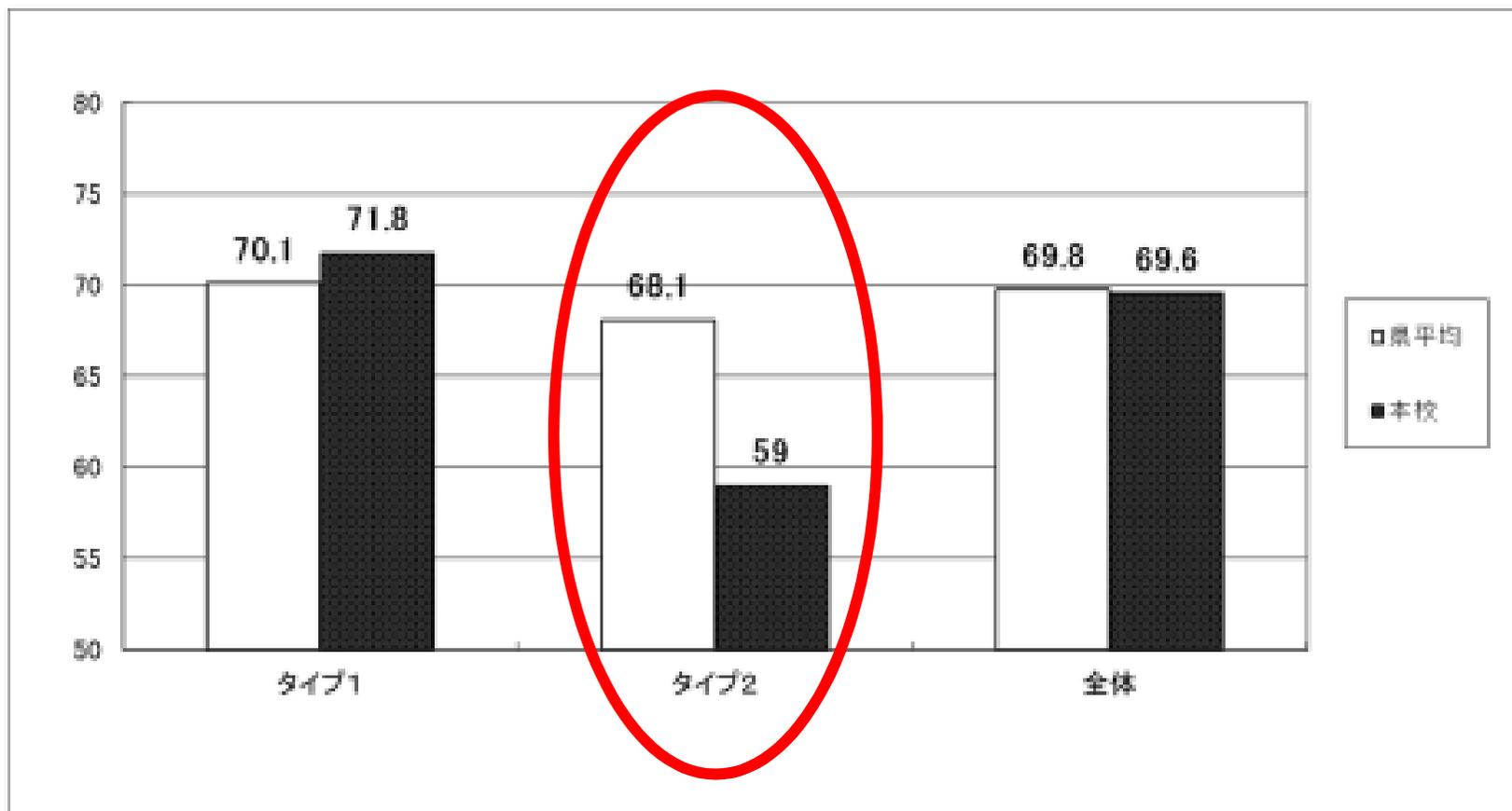
学力調査から見える課題

「基礎・基本」定着状況調査における
算数科平均通過率 (県平均との比較の推移)



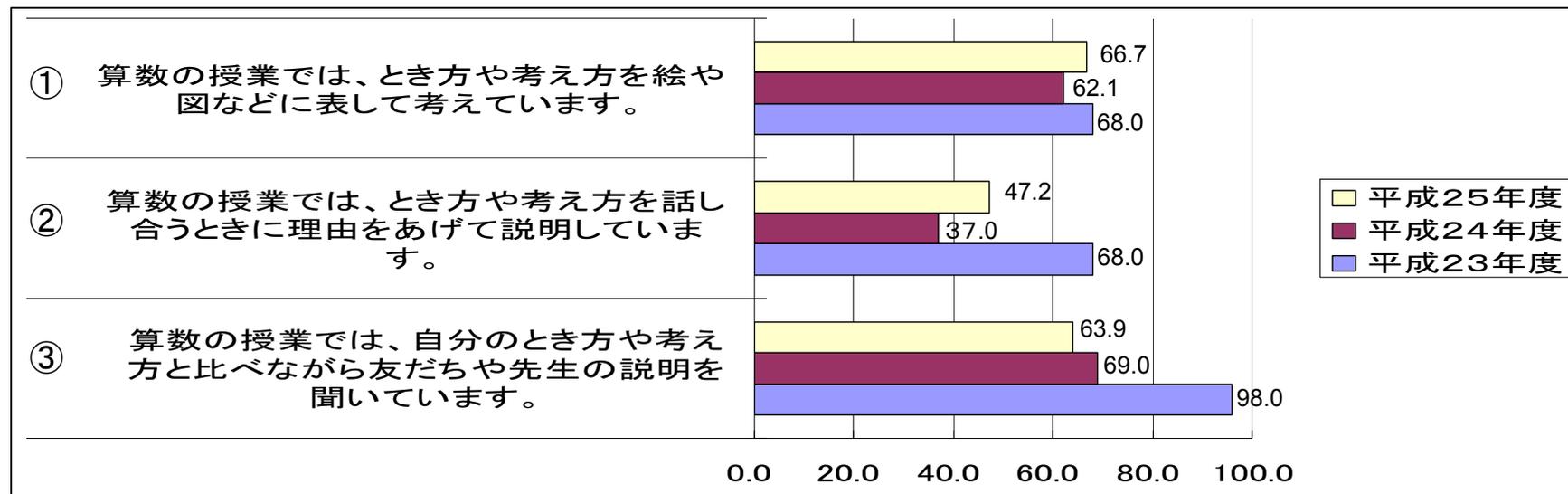
学力調査から見える課題

「基礎・基本」定着状況調査における
算数科平均通過率（本年度の県平均との比較）



「基礎・基本」定着状況調査における教科の学習に関する
調査（算数科における質問紙）

（算数科）



- 言葉，数，式，図，操作などを用い，根拠に基づいた思考・表現
- 自分の考えと友達の考えの比較や関連付け
- 学び合いのよさを実感

**基礎的・基本的な学習の定着
主体的に学ぶ意欲と自分の考えを持ち、筋道を立てて
表現する力の育成**

研究主題

**筋道立てて考え、表現することのできる児童の育成
～算数科における言語活動の充実を通して～**

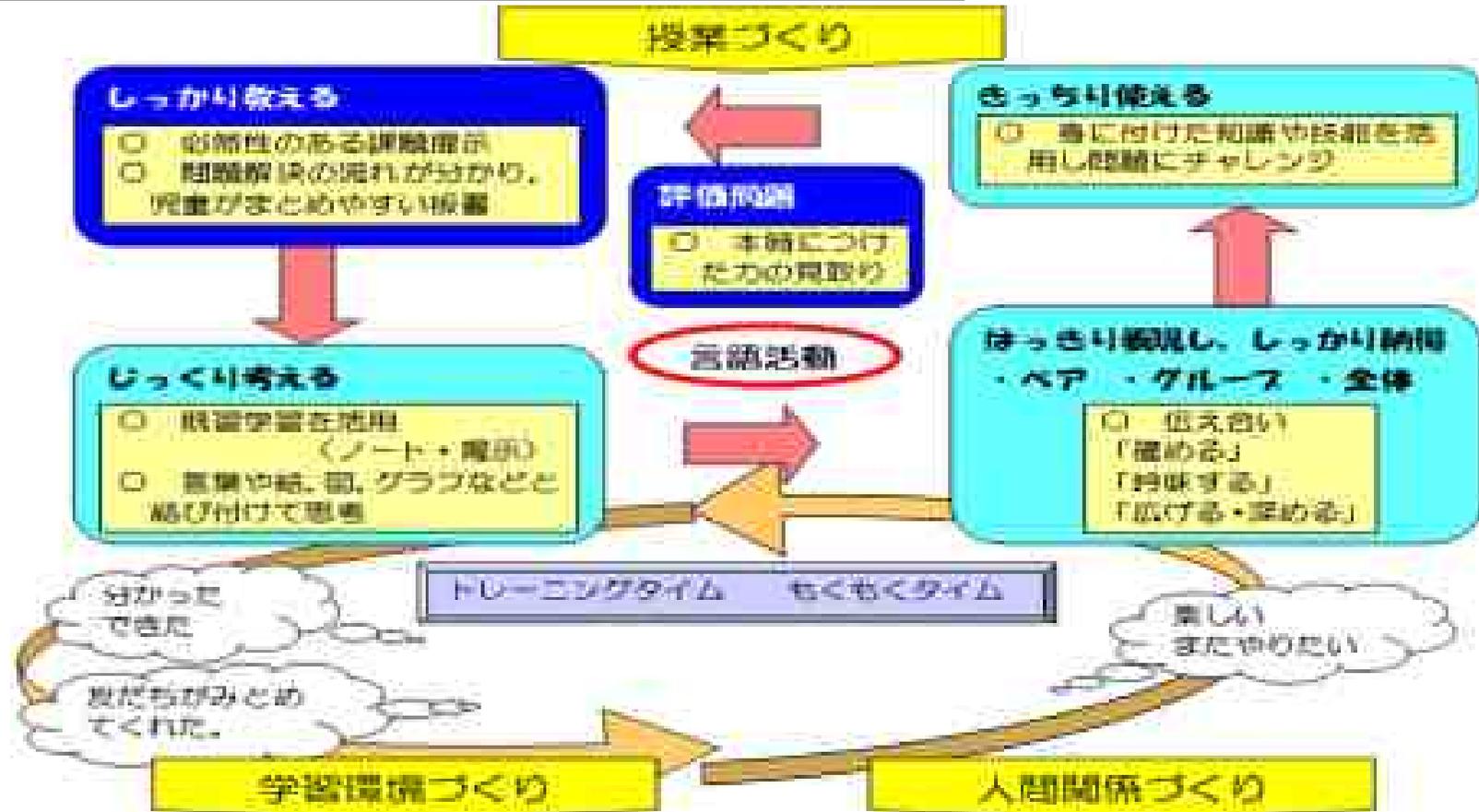
重点課題

- ①基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組
- ②学習意欲の向上を図る取組
- ③つまずきの大きい児童への効果のある指導の工夫

3 (D) 取組

① 基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組

「久保小学びのサイクル」による授業づくり



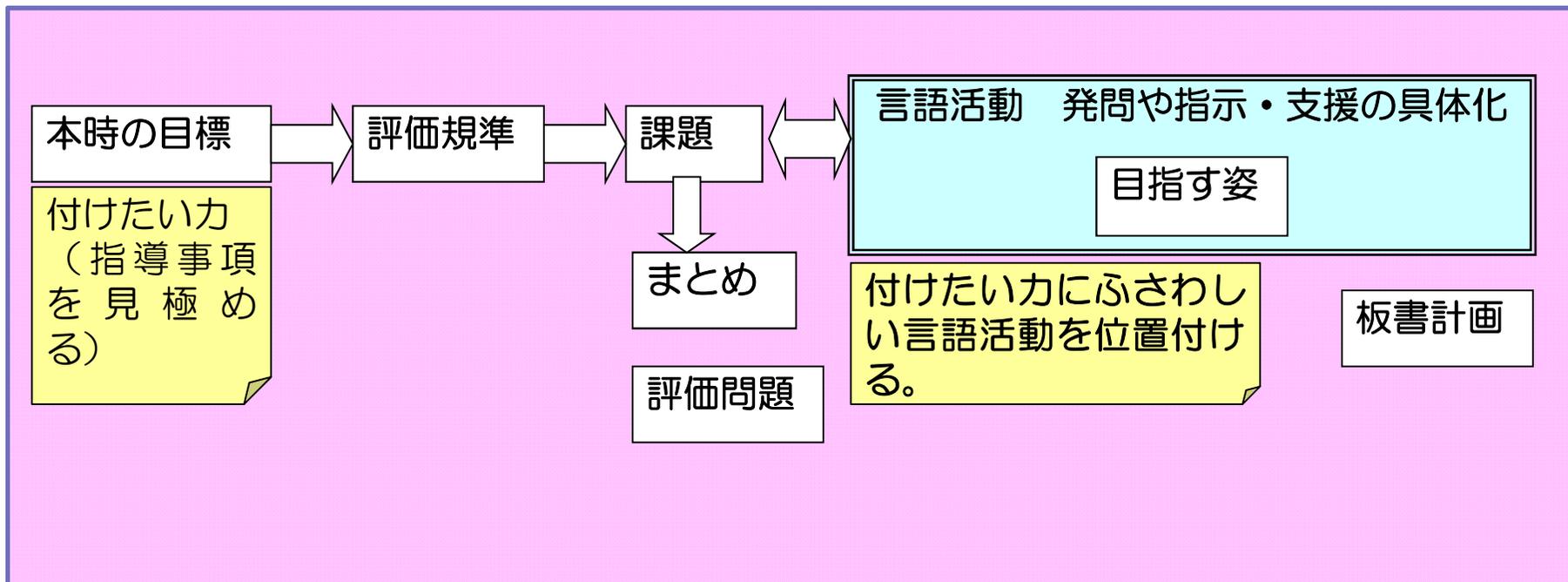
- 既習の学びの掲示
- 学習規律10ヶ条の取組
(はじめの巻・発表の巻・聞くの巻・学習用具・準備の巻)
- 子ども参観日(他学年からの学び)

- 算数科での取組
(問題解決学習の過程を構成するなかで、生徒指導の三機能(久保小版)を生かした授業づくり)
- Q-Uの実施及び分析による実態把握と取組の授業実践
- 人間関係づくりのトレーニング
- 縦割り班活動の推進

3 (D) 取組

①基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組

言語活動を位置付けた授業づくり



①基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組

言語活動を位置付けた授業づくり

言語活動の設定 5学年「割合とグラフ」

本時の目標
シュートの成績を数に表して比べる方法を考えることができる。
(数学的な考え方)

評価規準
シュートの成績を数に表して比べる方法を考えている
【考①】

課題
シュートの成績を比べる方法を考え、説明しよう。

まとめ
入った数÷シュートした数
(部分の量) (全体の量)
小数で表すと比べやすい。

評価問題
バスケットをしました。
どちらのクラスがいい成績をおさめたでしょうか。
式と考え

言語活動

どのような数に表せばシュートの成績を簡単に比べることができるでしょうか。

	A	B	C
入った本数(回)	5	6	5
シュートの本(回)	10	10	8

目指す姿

シュートの成績を比べる方法を数や式、言葉や図を用いて筋道を立てて考え表現し説明している。



① 基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組

伝え合い活動の充実

話し合いの視点を明確にする

ペア 小集団

全体

自力解決

- 個々の表現の場の保障
- 自己吟味

伝え合い

- 個々の考えを共有する。
- 個々の考えを吟味検討する。
- 協同して理想とする表現にまとめる。

伝え合い

- 共有
- 吟味・検討
- 分類・整理

自己の考え・質問

目的・内容・方法の明確化

学んだことを全体化



① 基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組

ノート指導の意義

① 学習の質の向上

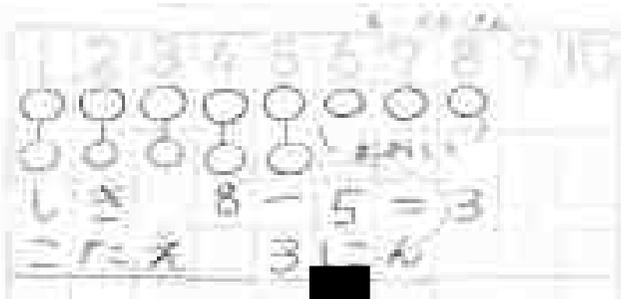
② 学習態度の育成

③ 学習指導の改善

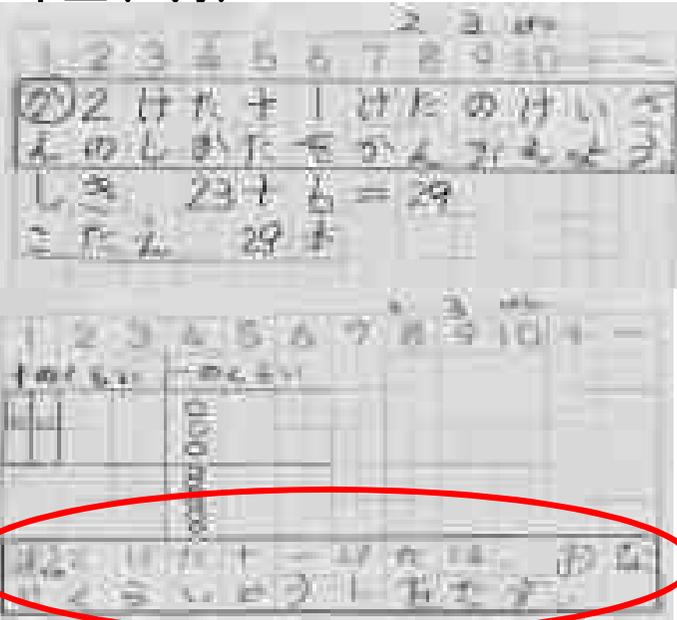
① 基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた取組

ノート指導の徹底

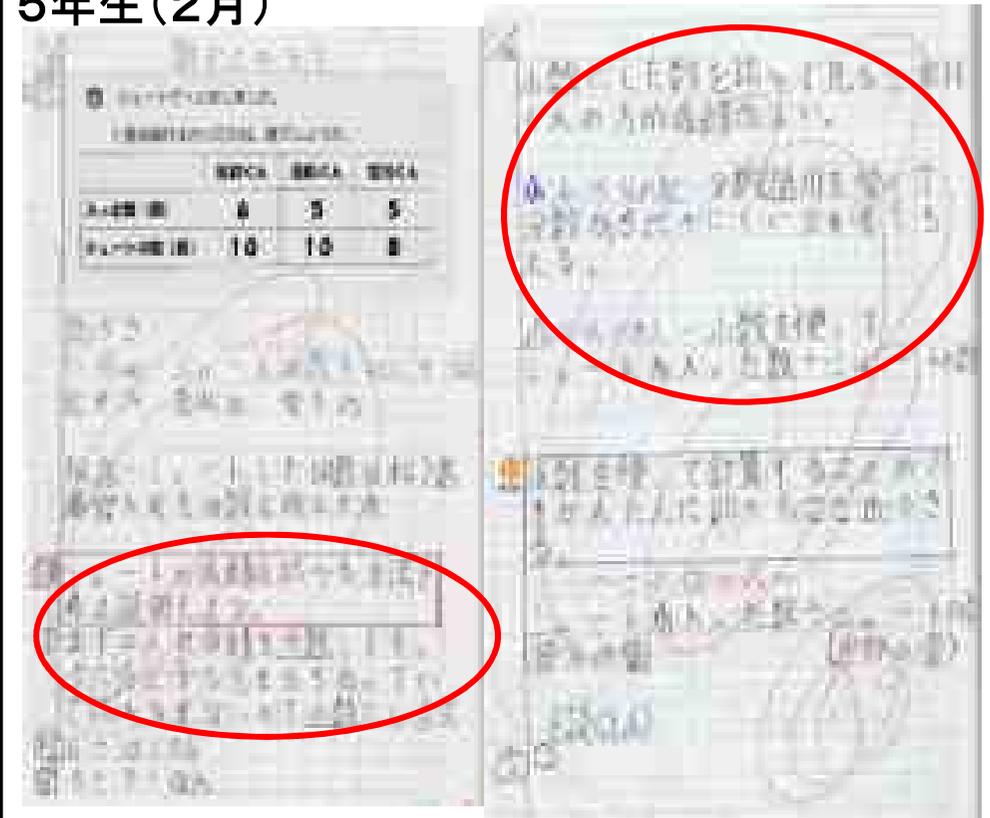
1年生(6月)



1年生(2月)



5年生(2月)



②学習意欲の向上を図る取組

生徒指導の三機能（久保小版）を生かした授業づくり

1 自己存在感 を持たせる 支援の工夫	ア 「授業に参加している」という実感を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学習や活動に応じた座席の工夫や発問を行う。 (2) 応答パターンの工夫を行う。 (3) 児童の学習意欲や習熟の度合いを把握し、個に応じたワークシートを準備したり、ヒントカードを与えたりする。
	イ 「自分が必要とされている」という実感を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 意図的な指名等、一人一人が活躍する場や課題を工夫する。 (2) 互いの発言を最後まで聴く習慣を大切にする。 (3) 協力して活動できる場を設け、互いの考えやよさに気付かせる。
	ウ 教師自身が一人一人を大切に する姿勢を示す。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 一人一人の名前を名字で呼び、目を見て話す。話をよく聞く。 (2) 発言しにくい児童に配慮するとともに、適切な支援を行う。 (3) 個に応じた改善課題・方法を示すノート指導を行う。

② 学習意欲の向上を図る取組

生徒指導の三機能（久保小版）を生かした授業づくり

1 自己存在感を持たせる支援の工夫

ア 「授
してい
うま
る。

- ① 発問は、具体的に1文で
(何をしたらよいのか明確に)
- ② 即反応
「〇〇です。」→「分かりました。」
「はい」「質問します。」1ーア

イ 「自
とされ
という
させ

- ③ 児童のできることを把握
例 問題文・課題を読ませる。分かっていることや
聞いていることを問う。ブロックを置く。等
- ④ 【相手を見て、話を聞かせる】指導
(児童にみんなが見ているかどうか確認させる。
「…ですね。」とみんなに問いかけさせる。)
(教師が発表している児童のそばに立つ) 等 1ーイ

ウ 教師自
人ー
う

- ⑤ 名前を呼んで、にっこり!
- ⑥ うなずいて聞く
- ⑦ 自力解決での支援と声かけ
「いいよ。」「できているよ。」などの声かけをして自
信を付けて、発表させる。 1ーウ

②学習意欲の向上を図る取組

生徒指導の三機能（久保小版）を生かした授業づくり

2 共感的人間関係を育成する支援の工夫	ア 「自分が受け入れられている」と実感できる雰囲気をつくる。	(1) 一人一人が自由に発言できる雰囲気づくりを行う。 (2) 教師の意図と異なる考えを抑圧したり切り捨てたりしないで、受容する。 (3) 誤答を大切にできる雰囲気づくりを行う。
	イ 「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気をつくる。	(1) 友達の考えのよさに気づき、学ぼうとする態度を育てる。 (2) 自分の考えと異なる意見や感情を拒絶せず、それを理解する技能を育てる。 (3) 友達の気持ちを考えて自分の言動を選択・構成する態度を育てる。

⑨【受け入れて、自分の考えを言う】指導

「〇〇さんの考えはわかりました。でもわたしは、・・・」

「〇〇さんの考えを聞いて、・・・がわかりました。わたしは・・・」

「〇〇さんの考えを聞いて、・・・に気づきました。」 2ーイ

② 学習意欲の向上を図る取組

生徒指導の三機能（久保小版）を生かした授業づくり

<p>3 自己選択・ 決定の場の 工夫と設定</p>	<p>ア 表現方法を選択する機会を提供する。</p>	<p>(1) 考えをまとめるための多様なワークシートやノートを準備する。 (2) 相手や内容に応じた表現ができるよう、多様な表現スキルを提示する。</p>
	<p>イ 学習形態や場を選択する機会を提供する。</p>	<p>(1) 児童の実態や学習内容に応じた学習形態（ペア・グループ・全体）を考える。 (2) 自分の課題や方法に基づいて活動内容や場を選択する機会を設定する。</p>
	<p>ウ 振り返りの方法を選択し、互いの学びを交流する機会を提供する。</p>	<p>(1) 学習形態のまとめ方を多様に提示し、選択の幅を与える。 (2) 自他の学習課題や解決方法、学習の仕方やまとめ方等を振り返って交流する時間を設定し、友達の成果に学ぶとともに、今後の学習課題や方法について選択・決定できる場を工夫する。</p>

② 学習意欲の向上を図る取組

個人カルテの活用

学力調査の結果・学期末の単元テスト

学習上の課題

Q-U学級満足度調査結果の推移

生活面での課題 等

機密 個人カルテ

氏名: _____ 学年: _____

性別: _____

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
出席						0
遅刻						0

成績データ

「基礎・基本」定着状況調査	学習のペースの経過	
基礎	実数	理社
◎	◎	◎

学習の様子 (学習の進捗状況及び着任の年まで)

1年	
2年	
3年	
4年	
5年	
6年	

学習上の課題

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
Q-U						
生活面での課題 等						

生活の様子 (問題行動の履歴及び人間関係、家庭環境の変化)

1年	
2年	
3年	
4年	

意図的指名
 机間指導を行い指導助言・ヒントを与える
 ノートの書き方を支援
 ノートに記入されている内容について評価する



②学習意欲の向上を図る取組

評価問題の作成・実施

問題の内容の精選
板書の工夫

時間配分
評価問題を行う場面

評価と指導

評価問題と適用問題

表5 5年 単元名「割合とグラフ」第1時 評価の問題点【他】

1. 問題の目標
「グラフの縦軸の数で表し、各々の割合を求めよ」と評せられた。

2. 本問のめあて
「割合の縦軸の数で表して計算する割合を求め、計算しよう。」

3. 評価問題
「グラフの縦軸の数で表し、その割合の縦軸の数で求めよ」と評せられた。
このグラフの縦軸の数で求めよ。

	1組	2組
読んだ数(冊)	5	3
残りの数(冊)	8	5

【1組の割合】
50 $5 \div 8 = 0.625$

【2組の割合】
60 $3 \div 5 = 0.6$

【答えを求めよう】
成績を比べるために、読んだ数(冊の欄)÷残りの数(冊の欄)で計算しました。
計算すると、1組は0.625で、2組は0.6になりました。
だから、1組の方が読んだ割合が大きいことがわかります。

答え 1 組の方が読んだ割合が大きい

4. 解答のポイント
この問題を解くときに、

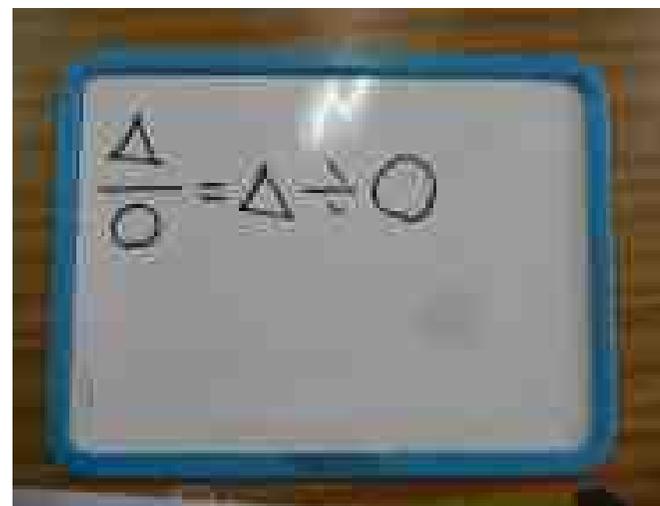
正答 35 / 37人
計算間違いだったので、もう一度落ち着いて計算しなおしたら正答

③つまずきの大きい児童への効果のある指導の工夫

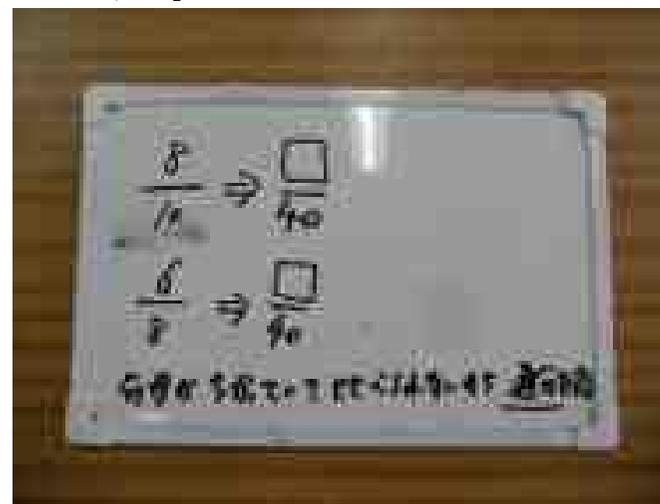
ヒントコーナー



ヒント1



ヒント2

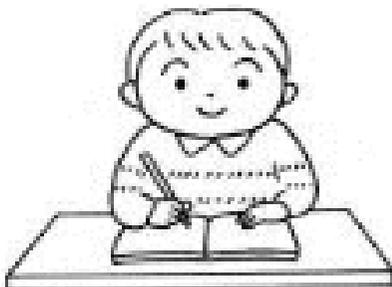


③つまずきの大きい児童への効果のある指導の工夫

視覚支援

《授業の流れを表すカード》

じっくり考える



活かす



《説明の順序を表すカード》

まず

次に

最後に

③ つまずきの大きい児童への効果のある指導の工夫

話し方の揭示

相手を意識した話し方	
すぐ反面	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」・「分かりました。」 ・「質問します。」
順序	<ul style="list-style-type: none"> ・「まず」「次に」「それから」 ・「だから」 ・「わけは、〇〇あります。1 つめは…」
確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「ここまでいいですか。」
問いかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・「…ですね。」
質問	<ul style="list-style-type: none"> ・「よくわからないので、もう一言書いてください。」 ・「ここからわからないので、かわりに書いてください。」
同じこと	<ul style="list-style-type: none"> ・まねをして言います。 ・「〇〇さんの考えはわかりました。でもわたしは…。」
受け入れて…	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんの考えを聞いて…が分かりました。わたしは…。」
見ると	<ul style="list-style-type: none"> ・「この図を見てください。」

③つまずきの大きい児童への効果のある指導の工夫

トレーニングタイムの充実

家庭学習の手引きの活用

算数大会の実施



80点未満の児童 全体の18%

算数学習の手引きの活用

家庭学習で大切な5つのポイント!

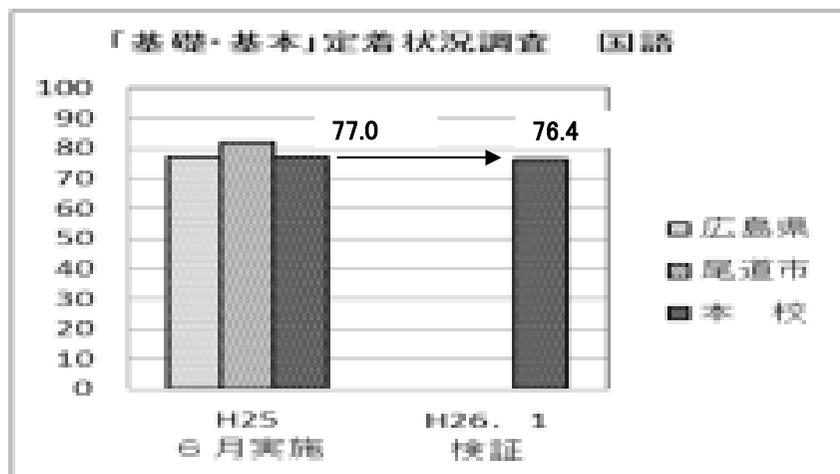
算数の学習習慣を身につけていくために、家庭学習は重要な役割を果たします。以下に、家庭学習で大切な5つのポイントをご紹介します。

- ① 学習時間(時刻)を決めよう
 学習時間(時刻)を決めよう。学習時間(時刻)を決めよう。学習時間(時刻)を決めよう。学習時間(時刻)を決めよう。学習時間(時刻)を決めよう。
- ② 読むことを見せよう
 読むことを見せよう。読むことを見せよう。読むことを見せよう。読むことを見せよう。読むことを見せよう。
- ③ 書くことを見せよう
 書くことを見せよう。書くことを見せよう。書くことを見せよう。書くことを見せよう。書くことを見せよう。
- ④ 算数の準備をしよう
 算数の準備をしよう。算数の準備をしよう。算数の準備をしよう。算数の準備をしよう。算数の準備をしよう。
- ⑤ 算数とつながりよう
 算数とつながりよう。算数とつながりよう。算数とつながりよう。算数とつながりよう。算数とつながりよう。

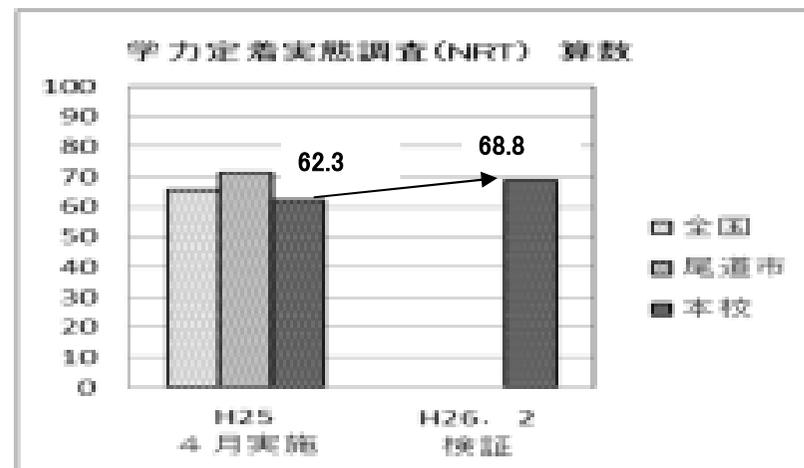
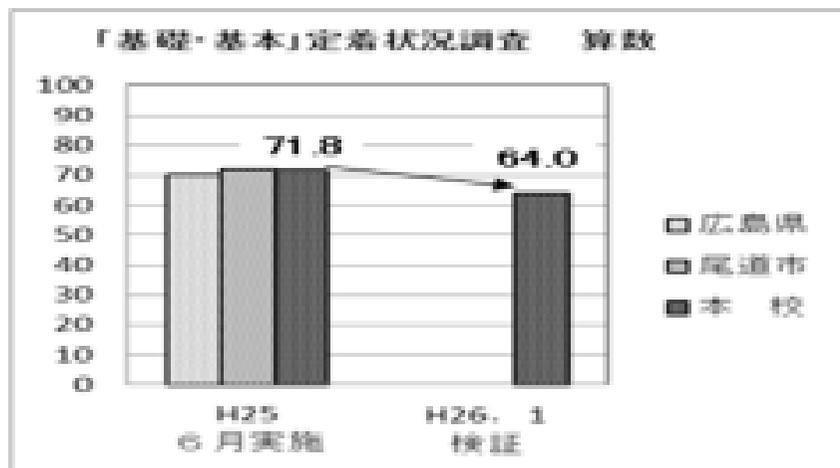
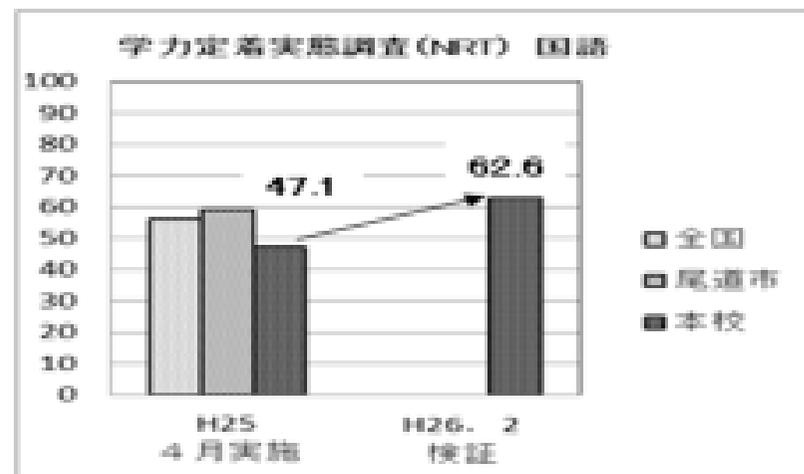
調査研究の成果の把握と検証

《基礎的・基本的な知識・技能の習得》

「基礎・基本」定着状況調査（第5学年）



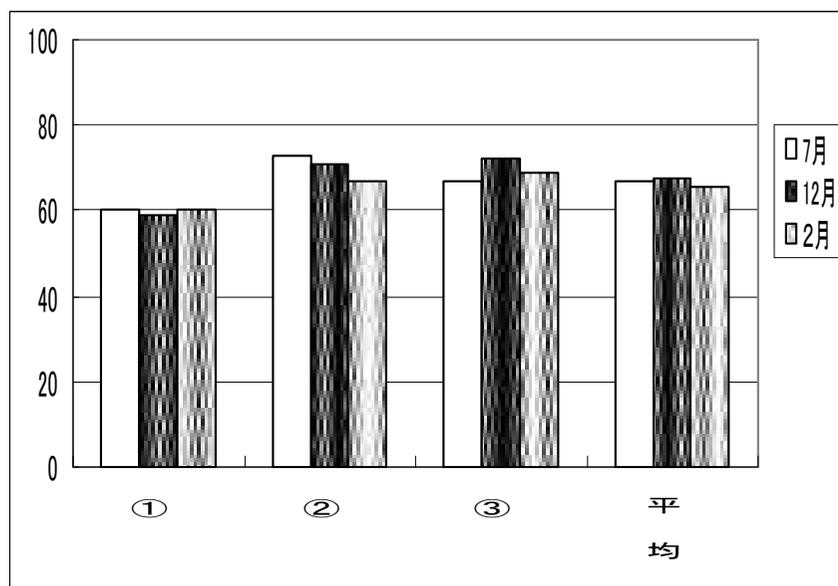
学力実態定着調査（第4学年）



4 (C) 成果の把握と検証

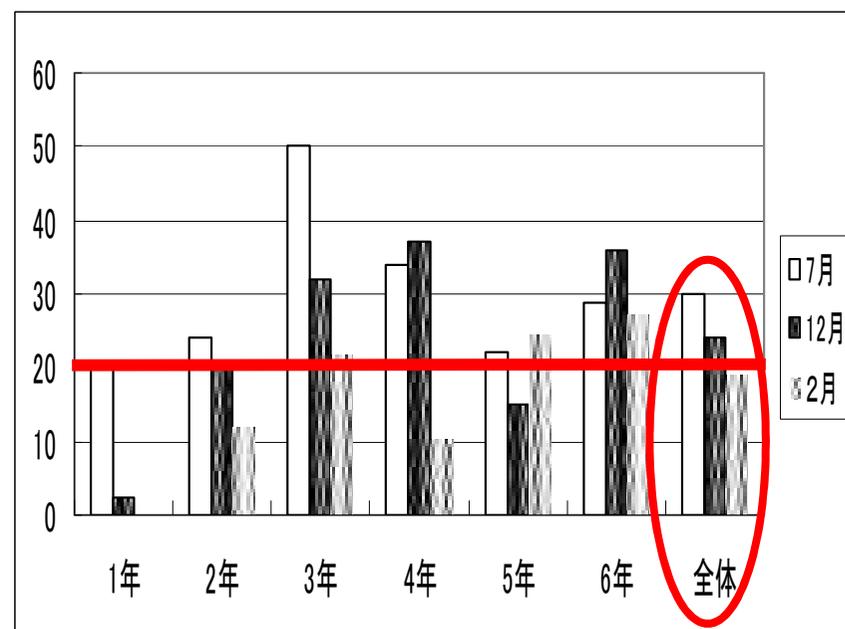
《思考力・表現力の育成》

言葉・数・式・図・操作等と関連付けながら、筋道立てて表現している児童の割合（児童による自己評価）



- ① 図や表, グラフ, 式を使って説明
- ② 既習事項をもとに思考
- ③ 解き方のわけ思考

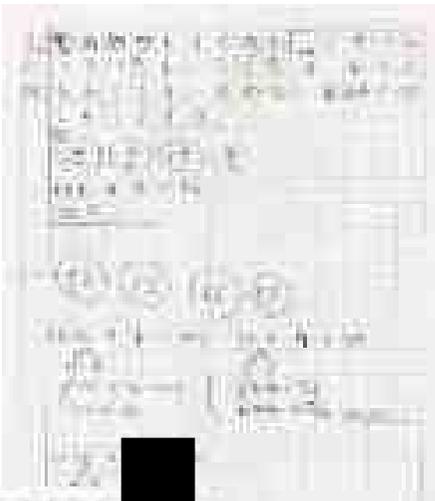
数学的な考え方において、60点未満の児童の割合（市販の単元テストによる評価）



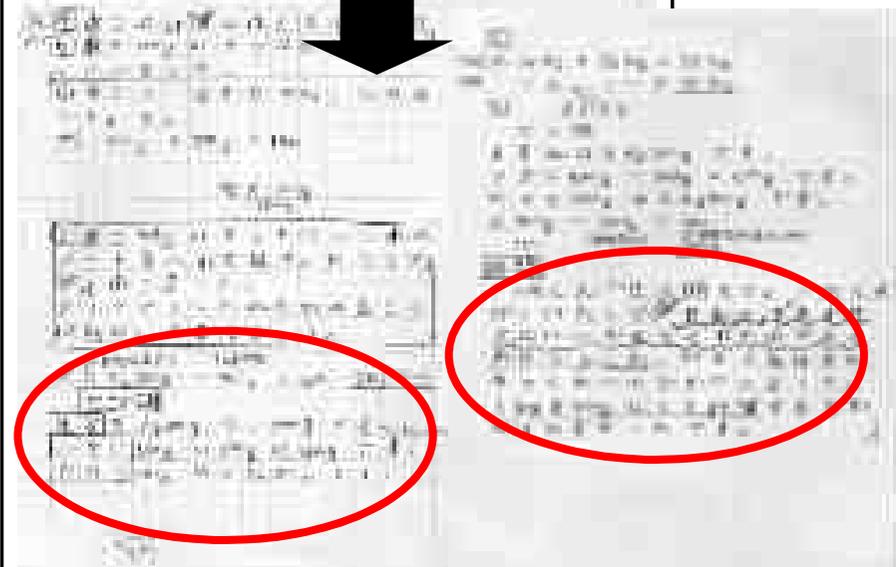
4 (C) 成果の把握と検証

《思考力・表現力の育成》

3年生 (6月)



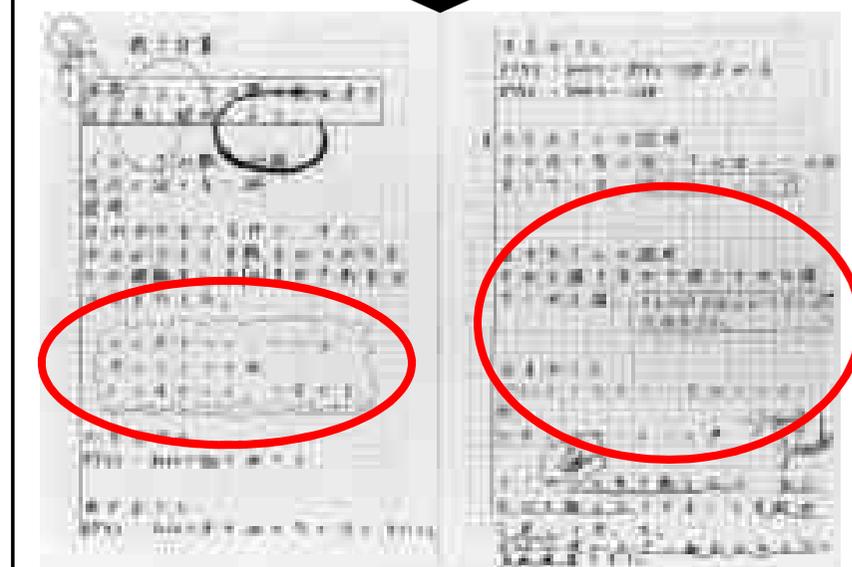
3年生 (2月)



6年生 (9月)



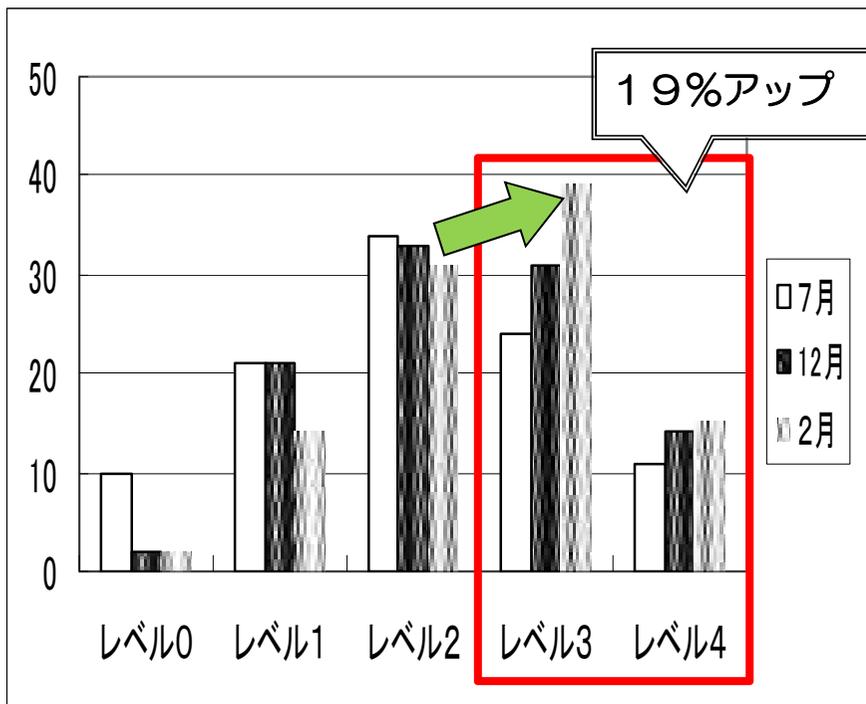
6年生 (2月)



4 (C) 成果の把握と検証

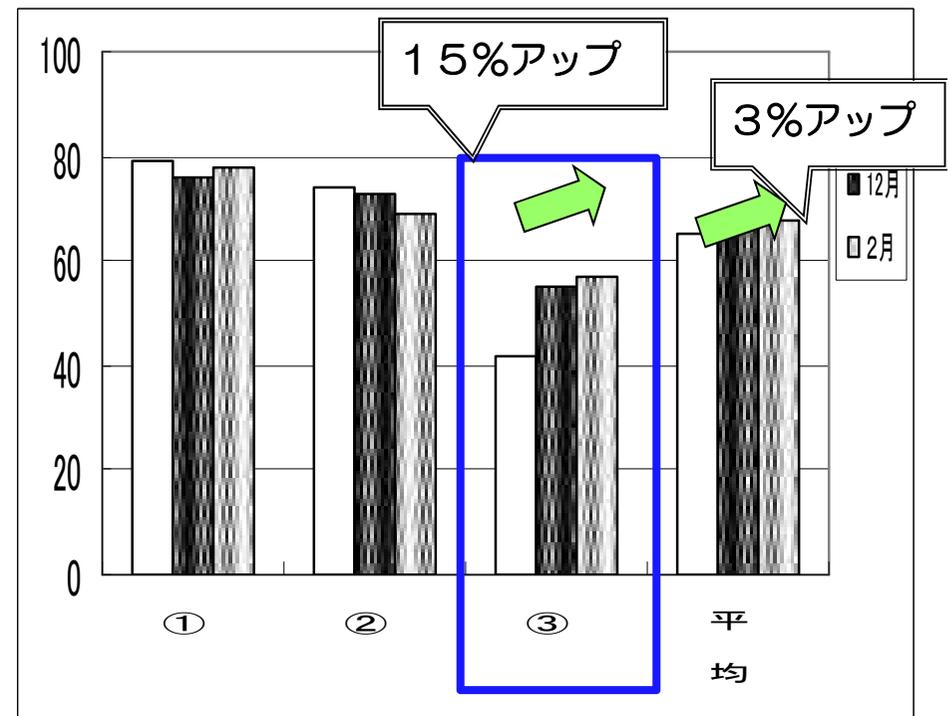
《学習意欲の向上》

聞く態度レベル3以上の児童の割合
(教師による評価)



教育研究部と生徒指導部との連携

学習に意欲的に取り組む児童の割合
(児童による自己評価)



- ①新しい問題を解いてみようと思う
- ②色々な方法で考える
- ③質問や意見を言う

5 (A) 今後の課題と 改善の方向性

CHECK

課題

- 既習事項の定着
- 根拠・筋道・相手意識をもった説明
- 主体的・意欲的な学習態度

ACTION

改善の方向性

- ☆ 目的を明確にした言語活動の設定
- ☆ 思考するための術・説明するための術の指導
- ☆ 生徒指導の三機能を生かした授業の充実
- ☆ 家庭学習の充実